



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第1回 実施報告

No.2012-01

実施日	2012年4月22日(日) 10:00~12:00	天候：曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)	ときどき雨	
参加者	参加者：10名(男性7、女性3) 衣川、細野、林、後藤、鈴木(健)、鈴木(響)、北澤、中田(直)、中田(美)、諸岡 インストラクター：松山(神奈川県森林インストラクター)、金森		

実施内容

活動2年目の第一回目。オリンパス技術開発センター宇津木駐車場に10時に集合。

午後から雨の予報のため、予定していた昼食(筍を使った料理)は行わず12時解散を目安に竹林管理と緑地の散策を行う。6月開講の八王子市市民企画事業補助金交付事業「宇津木の森 再生プロジェクト2012」の第1回目講師をお願いしている松山インストラクターが下見を兼ねて参加された。

まずは昨年整備した竹林へ向かう、途中、春の野草(スミレやヒメオドリコソウなど)の説明をすると、メンバーからヒメジョオンとハルジョオンとの違いやヒメオドリコソウとホトケノザとの違いが質問される。この時期は花が多く、植生調査地近くでは鶯の鳴き声をバックにウグイスカグラが見られた。

竹林で目にしたのは筍が盗掘されたエリア、一か所に集中しており、道具や掘り方、持ち去った数(16本)から業者による仕業と推測した。予め用意した竹を割った板50本を均等に立てて親竹(残す竹)の目印とする。盗掘されたエリアは残念ながら竹の無い空地ができてしまった。

天気がよければ実施した昼食用の竹の器(節と節で閉ざされた器)を人数分用意したので持ち帰り各自料理を試すことにした。ご飯を炊く、魚を蒸すなど、次回の活動で食材を持ち寄ることにした。

緑地の散策では、1月に設置した巣箱に注目、出入り口が削られており、野鳥が使っていることが確認できた。植生調査地には小さな芽がはじめている、種類はまだ不明、継続して観察してゆく。



せっかくの親竹が盗掘にあう



竹を4つに割った板を50本、親竹の横に立ててゆく、残さない竹は少し伸びたら竹水を探る実験に使う



植生調査に若葉が見られる



ウグイスカグラを発見



巣箱の出入り口が削られていた



竹の器に蓋となる穴を開ける

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大1を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、5月27日、炭焼き(伏せ焼)と森の料理(パウムクーヘン、竹筒焼き等)を予定する。
- ・因みに、会では放射能の影響を懸念して料理に使用する筍は九州産を使用する予定であった。